授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	平林　朋子	実務経験の有無	有	開講期	3 年後期
科目ナンバリング	W4-3004sR				

【授業の主題】

本講義では、ソーシャルワーカーとして必要とされる、より実践的な理論・技術を習得できることを主題とする。実習後の講義であることを踏まえ、実習を通した学びを事例として扱い、検討していくことを通してソーシャルワーカーとしてクライエントに向き合う姿勢を学んでいくこととする。

【到達目標】

1.ソーシャルワーカーとして必要とされる技術について理解する。
2.事例分析・事例検討を通してソーシャルワーカーとしてクライエントに向き合う姿勢を理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　　オリエンテーション　会議の種類と方法
第 2 回　　ミクロ・メゾ・マクロの会議①
第 3 回　　ミクロ・メゾ・マクロの会議②
第 4 回　　ファシリテーション
第 5 回　　プレゼンテーション
第 6 回　　コンフリクト・レゾリューション①
第 7 回　　コンフリクト・レゾリューション②
第 8 回　　ネゴシエーション
第 9 回　　事例分析①
第 10 回　事例分析②
第 11 回　事例検討①
第 12 回　事例検討②
第 13 回　ソーシャルマーケティング
第 14 回　事例研究①
第 15 回　事例研究②　まとめ

【授業実施方法】

講義とともに、にグループワーク、ロールプレイ、プレゼンテーション等、講義で学習した内容を実際に行う形とする。講義の最後に「リアクションペーパー」を作成し、提出する。

【事前・事後学習】

・教科書の講義内容を読み、不明点を調べる、出された課題に対する学習等、事前学習を 2 時間以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習・考えの整理を毎回 2 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

「社会福祉概論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅱ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ～Ⅲ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ」

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワークの理論と方法』中央法規、2021 年

【参考文献】

講義内で都度紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験　80%　リアクションペーパー　10%　演習等への取り組み　10%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとして勤務してきた経験から得た実例を取り上げ、講義の中で検討していく。この講義内容は、実務で必要とされる内容が多いため、できるだけ現実に即した形で行うこととする。

【学生へのメッセージ】

この講義は、今後、皆さんが社会で働いていく際に必要とされるスキルを学びます。社会福祉の分野で在るなしに関わらず必要とされるものです。参加型の講義としますので、一緒に学んでいきましょう。